

# 平成27年度バリアフリー基本構想策定支援セミナー

関東運輸局では、管内の市区町村等を対象とした基本構想策定の推進とスパイラルアップを図るため、「バリアフリー基本構想策定支援セミナー」を毎年開催しております。

本年度は、宇都宮大学大学院 大森 教授より「移動制約者の外出活動とバリアフリー基本構想」と題する基調講演を頂きました。その中で教授は「まちからバリアをなくす『気づき』と『活動』が重要」と協調し、市原市の例はあくまで一例であり「市民と取り組むバリアフリー化へのアプローチ方法は自治体ごとに模索すべき」とまとめておられました。

続いて、先進的にバリアフリー化に取り組まれている自治体を代表して、さいたま市都市局都市計画部交通政策課からバリアフリー基本構想の事例発表をいただきました。

## 【参加いただいた方々からの主な感想】

- ・基本構想策定に対する財政的支援を望む。
- ・策定にあっては、自治体の事業優先度によるのではないのか。（首長決断）
- ・基本構想策定の失敗事例を共有できると良いと思う。

日 時：平成27年10月22日（水） 14：00～16：30

場 所：さいたま新都心合同庁舎2号館 共用大研修室5A

参加者数：107名

〔自治体57名、交通事業者等46名、その他4名〕

基調講演：

「移動制約者の外出活動とバリアフリー基本構想」

宇都宮大学大学院 教授 大森 宣暁

事例発表：

「さいたま市バリアフリー基本構想の紹介」

さいたま市都市局都市計画部交通政策課企画調整係

主任 菊池 守久

情報提供：

「関東管内におけるバリアフリー基本構想の策定状況等について」

関東運輸局交通政策部消費者行政・情報課

「バリアフリー化の支援制度（社会資本整備総合交付金）」

関東地方整備局企画部広域計画課

